

ロータリーの創始者 ポール・ハリス

The National Rotarian

Edited and Published by
CHESLEY R. PERRY
Secretary NATIONAL ASSOCIATION OF ROTARY
CLUBS OF AMERICA.

Headquarters
189 La Salle St., Chicago

Advertising Rates for future issues will be
furnished upon application.

NATIONAL ASSOCIATION



Rational Rotarianism by Paul. Harris

ポール・ハリスの

合理的ロータリアニズム

1911年1月創刊の

『ザ・ナショナル・ロータリアン』から転載

この記事は「ロータリーの友」2001年1、2号に掲載されたものを転載しています。

ロータリアンの拠って立つべき原点を照らしたこの論文は、今もなお不滅の光芭を放っています。

21世紀を迎え、皆さまにあえてまたご紹介いたします。

(ロータリーの友より)

目次

合理的ロータリアニズム	3
利益の追求は危険	6
利益追求も結構	8
商売上好都合	10
より大きな見解	13
資質を表示するバッジ	20
事業における黄金律	25
皆さんはどちら	29
付：『ザ・ナショナル・ロータリアン』の発刊	33

ポール・ハリスの合理的ロータリアニズム

もし、神の摂理によって、私がどこかのコロシアムの舞台に立たされて、皆さんと向かい合い、瞬時のためらいも許されず、あらんかぎりの声で何か一言、言えと告げられたら『寛容』、と大声で叫ぶでありますよう。

もし私たちのこのロータリーが、つかの間の存在以上のものたるべく運命づけられているとすれば、それは皆さん方そして私たちがお互いの欠点を我慢し合う、すなわち寛容の価値の何たるかを学び知ったからであると言えましょう。

ロータリーというクラブ組織は、歴史に全くその先例を見ないものです。



羅針盤の發明されるずっと以前、危険な未知の海洋を星を頼りに安全に航海した人々のように、今日、ロータリーの先駆者たちは、遠い昔から人間の生活を支配してきた不文律を守りながら、ロータリーというこの船の舵を取って、危険と未知そして困難の渦巻くこの世の中を、たくみに導いてきました。今後、私たちのこの船が理性的な寛容、そして他人の信念に対する人間的思いやりという安全コースから、逸れることのないように祈ろうではありませんか。

今、私が冒頭に書いたように、神の摂理によって、全世界のロータリアンの心を一身に引きつけて、コロシアムの舞台に立たされるとしたら、次のような質問を發してみたいと思います。

「皆さんの理解しているロータリーの哲学とはどんなものでしょうか」
私は多数の人々の手が挙げられるのを心眼で見ることができません。そしてまた私は、各自のとっさの意見の表現という形では、正確な結論に到達することは望めないということを経験で悟るでしょう。

しかし、私はあえてまた、次のような質問をしましょう。

「ロータリーの哲学とは、仲間の会員に事業上の利益を与え、あるいはまた利益を与えてもらい、そしてまた自分の事業を会員の間を広め、さらにまた世の人々の間に広めてもらうことであると、信じているものは何人くらいいるでしょうか」

さらにまた、もっと質問の幅を狭めて次のように尋ねてみたいと思います。

「皆さんのうちで、何か事業上の利益を求めてクラブに入ることをご名誉もしくは非道德的だと考えるものは何人いるでしょうか」と。

この質問は皆さんの急所をつけています。多数のつぶやき声の中で、

3人の手が挙がるかもしれません。そういう場合は、それら少数者の意見を聞いてやるのが公平だと思えます。そこで私は、その少数者のうちの1人で、特に道徳を重んじるA氏にその考えを話してくれるようお願いします。私にはA氏が何を言うかすぐ予測ができます。彼は次のように言うに違いありません。

利益の追求は危険

「ロータリーの特徴として、自身の事業上の利益の追求を挙げることは危険であるように思える。世間の人々は私たちのことをどのように考えているだろうか。私は既にこの街で、社会的地位の高い幾つかのクラブの会員になっており、そして少なくともそれらのクラブの一つでは、クラブ内で事業上の利益を追求することは厳しく禁止されている。またそのほかのクラブでも、そのようなことはすべてタブーとなっている。

クラブはクラブ自身の目的のためにあるもので、事業上の利益のため

にあるものではない。昼も夜もこつこつと仕事を続けたいなら、そのような人は、自分の事務所ですれをやるべきだ。クラブの主な目的の一つは、仕事から離れ、休息とレクリエーションを楽しませることにある。私は既に30年間生きてきたが、今までこの基本的原則に反するような定款細則を待っているクラブがあるとは聞いたこともない」と。

すると、「ここに皮肉屋がいて、次のようなことを言うかもしれません。「皆さんのおじいさんは、その一生に一度も汽車に乗ることなく終わったということを考えたことがありますか。その場合、おじいさんはその無経験故に、汽車というものに対して正しい概念を抱くことができなかったであろうということを考えてことはありませんか」

議論がこのように展開した場合、できたら私はこの論題について、いつも物事を割り切って考えるB氏の意見を聞いてみたい。B氏は多分次のようなことを言うでしょう。

「事業上の目的のためにクラブに入ることが不名誉かどうかは、クラブ、

その綱領、そして入会者が入会の際、何を誓約するかによる。事業上の目的を持って実業クラブに入会することは、社交を月的とする社交クラブに入会し、あるいはスポーツを目的とするスポーツクラブに入会するのと同様、何らとがむべきことではない。

もし皆さんがご自分の妻や子供のため、まともな事業上の取引によって、クラブの仲間からそこばくの金をもうけようとするのを、悪いと言われたなら、その人に向かつて、あなたのキャブレターの中には何か異物が入っていますよ、と言ってあげなさい」

利益追求も結構

「合法的な取引は、双方にとって利益になるのです。私は、相手に私と取引する機会を与えるとき、ちやうど私自身に対するのと同じように、相手にも大きな思恵を与えていると信じている。

A氏（道徳を重んじる人）が間違っているのは、彼がたまたまそのメ

ンバーである特定のクラブ内で、事業上の取引が禁じられているか、あるいはタブーとされているということだけを強調している点だ。

真のロータリアンは、外部の人から『事業上の目的がロータリーの特色の一つだ』と言われても決してしよげはしない。もし皆さんの事業が事務所で大声で話し合える性質のものであり、そしてまた家庭で語り合ふにはあまりにも尊いというようなものでなければ、どんな理屈であなたは、それをクラブでやってはならないというのだろう。

事業こそ文明の源流であり、もし事業をなくし、時というものを切り取ったなら、私たちはまた、キリスト以前の時代に返ってしまうことだろう。

結論として私は次のようにお聞きしたい。「ロータリーとは、仲間の会員に事業上の利益を与え、自分の事業を仲間の人に広め、あるいは仲間の会員から事業上の利益を得て、そしてまた会員によって世の人々に自分の事業を広めてもらう、ということを目的とする以外の、あるいはそのような目的よりももっと高いものを目指すものであろうか」

では、次に何事にも現実的に対応するC氏の考えを聞いてみましょう。私はこのC氏とはかなり前から知り合いです。なかなかの善人で、なかなか勘定は期限が来れば必ず払う、または期限前でも割引をしてくれれば払うという愛すべき性質を持っている人です。

彼は決して百万長者にはなれないでしょう。なぜならお金の勘定があまりにも細かいからです。大きなことはできないでしょうが、つましく生活して、決して社会の厄介者になるようなことはないといった人物です。そのC氏は次のように言っています。

商売上好都合

「私はこのクラブがこの街にできて以来のチャーターメンバーだ。その間に私は75人の会員に儲け口を与え、そしてまた32人の会員に私の商売を広めた。だから私が助力した人は100人以上になる。そして

クラブ会員とした取引の額は総計2,148,16ドル、それから私が受益者となった場合の取引額が1,971,65ドルで、このうち、83,95ドルを除いては全額清算済みとなっている。だから私は自分の出し分は出したし、帳じりは貸方になっていると思う。もしお疑いなら店へ来ていただいて結構、どの人にどんな品をあげたか、またどの人からどんな品をいただいたか、一つ一つお目にかけてよう。

ロータリークラブに入ったのは、勧誘してくれた人が、このクラブは事業上の利益を目的として集まった、異なる業種の事業家のグループであると言ったからで、私にはそれが非常に合理的なプランであるように思えたからだ。会員になることは200〜300人のお得意さんを得るようなもので、事業家が儲け話を求めていつも私に接触してくる。このように話を持ちかけられた時は、話があまりにももうますぎると思った。しかし私の考えでは、クラブの性格が事業クラブであっていいし、また社交的、または公共的目的を持ったものでもいいと思う。だが社交的あるいは公共的性格を待ったクラブは、ほかにもたくさんあるので、



最初のロータリークラブ役員 左から創始者ポール・ハリス、シルベスター・シール会長、ウィリアム・ジェンソン幹事、ハリー・ラッグルス会計担当

やはりロータリーは事業クラブとしてとどまったほうがよいと思う。

私は働き者で毎日12時間は働く。クラブ例会に出るときでも、ちよつと変わった形式ではあるが、これもやはり商売の一つであると思つて出てくる。そうでも考えなければ、これに時間を割こうという気はしない。皆さんが市民の義務だとか何だとかいろいろなことを話されるのは大変結構なことと思う。

しかし、商売とはお金を儲けることなのです。そして私たちが追い求めているのは、結局そのお金なのだ。この街の進歩的な人の一人で、いつも市のために、あれをやるう、これをやるうと叫んでいる人を私は知

っているが、偉そうなことを言う前に、私が貸したお金を返すべきだと思う。彼は私から1ドル75セント借りたままなのだからね。私の考えるところでは、ロータリーは一つの企業体だ。そしてその企業体としての任務をよく果たしている。

まあ企業体そのものではなくても、それに近いような形でその務めを果たしていますね。これはそのままよいのであって、そつとしておいたほうがよい。これが私の結論です」と、言ってC氏は着席した。

より大きな見解

さて、もう一人D氏の話聞いてやらなくてはなりません。彼はこれまでの討論で、まだ発言していないグループの意見を代弁します。

D氏は公共心に富み、常識の豊かな人です。

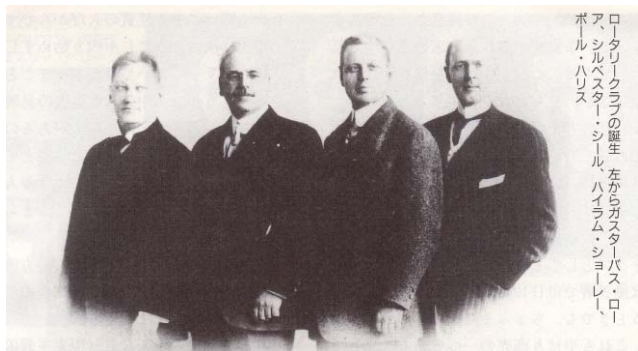
最終発言者として、D氏は反対意見の人々によって提起された論点を

すべて検討する機会を待ったわけです。しかし、彼はいつも発言は最後に行います。なぜなら、彼は相手の言うことをよく聞いてやる性質の人だからです。

D氏は次のようにしゃべり始めました。

「ロータリーにおいて考えるべきことが、事業だけかどうかは、主として各人の見解によりましよう。お金とはどんな価値があるのか、ロータリーをこの質問に照らして、考えてみるような習慣のある人ならば、そのような人にとって実業クラブは全く単純に見えてつまらないでしょう。」

まあロータリーを全く事業上の方便として見た場合でも、非常によい、好都合のものであるということは言えましょう。私



ロータリークラブの誕生 左からガスターパス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・シヨレー、ポール・ハリス

の有能なる友人C君（現実主義の人）は、ロータリーを純粹に商売上の手段として考えておりますが、彼は彼なりにクラブのためになっているということは否定できないと思います。だれでも生活をしていかなければなりませんから、その意味で彼が私たちの助けになっているということは、大いに歓迎されるべきことだと思います。

しかし、C氏の生き方だけが唯一の生き方であるのか、ロータリーとは単に事業上の利益を融通し合うだけのものではないと、信じる人々が存在する余地はないのであろうか。そしてまたロータリーには、現代の国民として、祖先の残した贖失な遺産の継承者として、各自の受けた恩恵に報いるべく、公共のため、次代のために何事かをなさん、と考える人々が存在する余地はないのであろうか。

私はロータリーというものを、社会に恩返しするための団体であると考えてきました。こう考えますと、自分の地域社会のためになることを行い、そうしながら何か自分自身のためになることも、できるかもしれないと思うのです。

えびで鯛を釣るような仕事は大した勇氣を必要としないということを知っています。ロータリーでは、勇氣があってもなくても、あまりお金とか時間の犠牲を強いられることなく、世間に恩返しをする機会を与えてくれます。

皆さんが、ロータリーを通じて仲間のロータリアンのため、あるいは社会のため、何かしておられる時は、その仲間は皆さんのために何か良いことをしてくれていたり、あるいは良いことを言ってくれているのではないのでしょうか。

自分自身のためより、他人のために働いているときのほうが、どんなにうまくいくかということをお考えになったことがありますか。自己の利益を離れてした仕事というものは、広く世間に知れ渡るものです。

もし皆さんが本気になって、時間のすべてを私の事業のために打ち込んでくれたら、そして私もまた同じように皆さんのために働いたら、私たちの稼ぎは倍にも増えるでしょう。

今まで私の述べてきたことは、質問の本筋から外れているかもしれま

せんが、一体、ロータリーにおいて考えるべきことは事業だけでしょうか。

あまりうますぎる話には気をつけるということが言われます。この世の中には、うまい話がたくさん転がっています。しかし成功とか蓄財に平坦な道はありません。ロータリーといえども、あの『開けごま』のおまじないと同じようなものであると考えると考えたら間違いです。このことははっきり認識しておくべきでしょう。

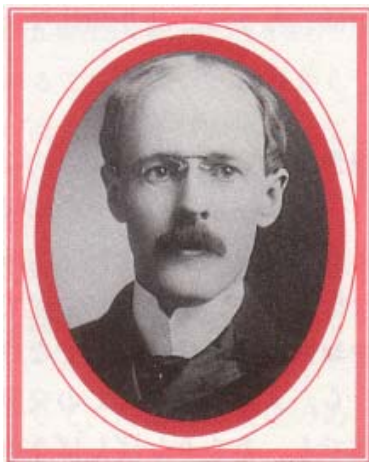
表面的に見るならば、ロータリーの構想は、理論的に正しいようにみえます。いや正しすぎるくらい正しくみえます。自分の事業と競争的關係を待たず、しかも皆さんの利益を計ってくれる友人を200〜300人も持つことは大変魅力的な話です。それが実際に理論通りに運んだら、私たちはこの世にあるすべての事業を、まもなく独占してしまうことができるでしょう。

しかし実際には、そういうことは起こらず、また私たちとしても、そこまでは望んでいません。なぜでしょうか。

それは人間性というものの故にです。競争者がいない市場で、品物を売りたいと思うのが人間性ですが、またその半面、競争者のいる市場から、品物を買いたいと思うのも人間性なのです。

人間とは同時に競争を嗜み、かつ好むようにつくられているものです。

シカゴで弁護士として出発した
ポール・ハリス（一八九六年）



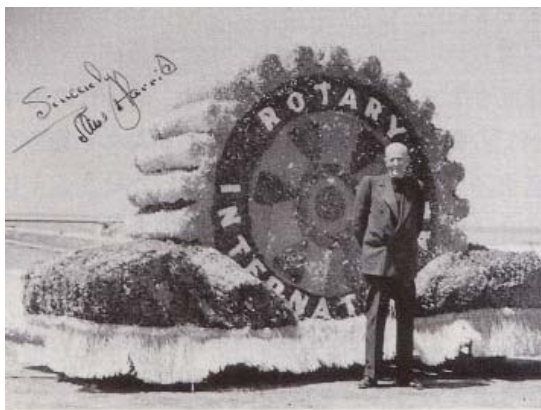
貧弱で古ぼけた競争相手を、消してやろうなどとしてはなりません。その人は長い間、忠実に私たちのために尽くしてきたのです。競争者というものは必要な存在なのです。

もし、私たちが競争相手を完全にやっつけてしまったとしたら、遅かれ早かれ、クラブ会員になっていると、商売敵をやっつけるのに好都合だと考える人が、入会し

てくることになるでしょうし、またその後からも彼と同じような考えを持つ人が入ってくるようなことになるでしょう。

自分を拘束する諸条件に反抗するのが、アメリカ人気質の特徴で、自分の尊敬する人のためには理屈抜きで、自ら進んで無償で尽くすという傾向があります。

皆さんのそしてまた私の事業にとって、最も貴重な資産は、私たちをそして私たちの商品を、ひいきにしてくれる人であります。無理に私たちをひいきにするよう強制されている街全体の人々より、このような性格の人、1人の方が価値があるものです」



ロータリー・パレードに参加のポール・ハリス（1940年）

ロータリアンの原点を照らしている『合理的ロータリアニズム』。皆さんは、ここに登場するA氏（道徳を重んじる人）、B氏（物事を割り切って考える人）、C氏（物事に現実的に対応する人）、そしてD氏（公共心に富み、常識の豊かな人）の見解のいずれを取られるのでしょうか。

（ロータリアリーの友）

資質を表示するバッジ

「ロータリアリーのバッジは資質の保証となるべきものでなくてはなりません。私はB氏（物事を割り切って考える人）が語ったすべてを正しいと信じております。正当な事業取引は、何ら不名誉ではありません。」

それからまたC氏（物事に現実的に対応する人）の言ったように、お金儲けの手段としてロータリアリーを考えることも、あながち間違っていないでしょう。

しかし、もう一つ大事なことは、ロータリーに公共的福祉の増進のための方であるということです。

もしロータリーにおいて、完全ということが達成できるとしたら、私たちはこの世にあるすべての職業および事業を代表する人々を集めたクラブをつくりたいと思います。ということは、クラブに行けば、どのような職業または事業に従事している人にも会えることになりましょう。ロータリーのもつこの実力が、ある共通の、しかし、愛他的目的に向かって発揮された場合を考えると、興味深いものがあります。

ほとんどすべての街が、各々商業団体を持っているというのは事実です。しかし、そのような団体もつと存在できる余地はありますし、さらに考えるべきことには、これらの団体は、『もつとニューヨークを大きくしよう』『もつとシカゴを大きくしよう』などと叫ぶのに忙しすぎて『もつとニューヨークを良くしよう』『もつとシカゴを良くしよう』と叫ぶ暇がないようです。

ロータリーは、新しい勢力が集まったものであり、またほかのよ
うな団体やクラブも持っていないような、潜在的な力を持っております。
地域的にも全国的にも、ロータリーのような影響力を發揮できる市民団
体は存在しません。

ロータリーは、アメリカのすべての主要都市に根を下ろしているので、
法律の立法に与える影響力は、ほかのどのクラブにも増して大きいもの
があります。

私たちはロータリーにおいて、より広く、均衡のとれた、そしてもつ
と強烈な愛国主義を必要としているのです。私たちは、会員のレベルを
常に高く保たねばなりません。

各会員のロータリーに対する忠誠の度合いは、その会員がどのような
人を、会員候補として推薦するかによって、測ることができます。自分
より優れた人を会員に推薦する人は、心からロータリーのためを思っ
ている人と言えましょう。

また自己の事業上の利益のために、あまり質の良くない取引先の友人

や、お得意を推薦する人は、私欲を優先させる人であると言えます。そのような行為が、どれほどロータリーに害を及ぼすかは、ちよつと計り知れないものがあります。

私は、親愛なるC氏（現実主義的な人）に言いたい。ロータリーは常に最高の結果をもたらす、たとえその結果がお金を意味するものであつても。ただし、もしあなたがすべての時間を帳簿づけやお金勘定に費やすのでなければですが。なぜなら、クラブを通じての実際では、たとえ儲け話でも、あまりしばしばされると、いやがられるものです。

正当な取引は、決して不名誉なことではありませんが、しかしクラブでそれを行うのは不都合な時もあるのです。

人生において変化を求めるのは、人間性のしからしむるところです。そしてまた商売であろうと何であろうと、もしその人が自分の地域社会の人々から、よく思われていけば、何事もやりやすいというものです。クラブについても同じことが言えます。クラブの存在する地元でよく

思われていれば、クラブの成長も一段と順調にいくでしょう。人間であれ、クラブであれ、地元でよく思われようとするならば、地元のために尽くすのがよい方法です。

アメリカ人は、ある種の公共的な仕事を絶えずクラブに要求するように教育されています。まだ、皆さんが、この種の仕事を何もしていないのであれば、私たちがやってきたことを見てもらいたいと思いますね。文明が進むにつれて、この種の仕事をやる機会はどんどん増えていきます。

一度始めてみると、それがどんなに楽しいものかが分かって、驚かれることでしょう。

初めから積極的に奉仕できないというのであれば、少なくとも受動的に奉仕してみてください。何か公共問題についての講演があったならそれに出席して話を聞くというのも、それに当たります。

それは皆さん自身の教育になるとともに、クラブにとっても良い広告になるはずで。一般市民は、皆さんが少なくとも公共的問題に関心を

待っているということを知るわけですから」

事業における黄金律

「もしロータリーに、何か不愉快なものがあると責められることがあるとすれば、その自己主義についてでありましょう。

この点、私たちの排他的性質は批判を浴びねばならないのかもしれないかもしれませんが。

そのようなときは、次のように話してあげてください。自己主義の反対は愛他主義であり、ロータリーは会員に、人から助けられるのはもちろん、人を助ける機会を与えるものであると。

入会するとき、主として助けてもらおうと思つて入つた人で、だんだん交際の深まるにつれて、人助けをすることに、大きな楽しみを見いだすようになつた人が多くいます。友人に儲け話をもつていつてやつたり、取り次いでやるのがどんなに満足すべきことか。お互いに知り合うこ

とが少ない大都市では、特にそういうことが言えましよう。

私は今までに、ロータリーの中でだれかをひいきするようにと、はっきり義務づけられたことは、決してありません。私はロータリアンをすべてひいきにしております。そしてロータリアンをひいきにするこの習慣は、時がたつにつれて、ますます強くなっています。

ほとんど毎月、私はロータリアンのだれかと新しい取引関係をもつようになっていきます。そしてひいきする友人をつくる機会を与えてくれるという点だけでも、ロータリーの会員とは価値のあるものだと考えております。

それからまた、自分のクラブの仲間と同じように、ほかのクラブの人のために



来日時米山梅吉氏に箸の使い方を教わったポール

もしてやりたも、というのが私の望みです。そして会員個人のために、ひとわたり尽くしてから、クラブのため、そしてまたこの街のために何か特別なことをやろうと思っっています。

交友は儲け話をもつてくる、と言われますが、それは確かです。ロータリーの構成それ自体が商売上の取引を必然的に招くのです。事業資産としての会員資格は、日々とはいえませんが、年々その値打ちを増していく。良いことはゆっくりやって来ます。取引関係というのは、一度結ばれれば永続するものです。お互いに競合関係のない人々と、交際する機会を与えられます。ロータリーはその綱領に職業を規定した一項目をもつ唯一の筋道立ったクラブです。

私は設計技師ですが、設計技師のクラブに出常した場合、どのような儲け話を見つけることができるでしょうか。そこに出てくる人々は、すべて私の競争相手ばかりです。私を除いて、そのクラブにはおろそかの技師がいますが、ロータリーではどの会員も私にとってお得意になる見込みのある人ばかりです。

商売や事業というものは、私たちの組織の部分部分をつなぎ合わせるセメントのようなものでなければなりません。しかし、それが組織のすべてであってはならないというのが私の信念です。私たちはとかく、このクラブ内の友好的資係を商売中心に考えがちですが、私はそれに反対します。

その理由の一つとして、時々商売を離れて、変化を求めることがよいと思うからです。いつも私たちが商売のことばかり考えて、お金勘定ばかりしていると視野が狭くなり、見識も小さくなってしまいます。

2番目の理由として、時々変化を求めたほうが事業上、商売上、よい結果をもたらすと思うのです。

その3として、時として変化のあったほうが、ロータリーのためによく、そしてその結果、私たちが街、州、国そして全世界で尊敬されるようになると思うからです。このように結論して、D氏は着席しました。

皆さんはどちら

さて、この討論の結末をつけるための論評を少し述べさせていただきます。

この4人、すなわちA、B、C、D各氏の熱心なご意見を大変楽しく聞かせていただきました。そこで私が思うに、すべてのロータリークラブの会員のほとんどは、次の3つの種類のいずれかに当てはまるのではないかと考えるのです。すなわち、

- (1) ロータリーに商売を持ち込んではいないと主張するA氏と同じ考えの人。
- (2) 商売こそロータリーのすべてであると信ずるC氏と同意見の人。
- (3) ロータリーとは、公共的活動および親睦を、商売と合理的に混ぜ合わせたものであるとするD氏と同じ考えの人。

真のロータリアン哲学として受け入れられ、ロータリアンにも、また、ロータリアンでない人々にも同じように理解され、尊敬される見解は、この3つのうちのどれか一つ、またはそれに近いところにあるはずです。ロータリアンに秘密会合があつてはなりません。もしロータリアニズムが、全国民を陪審員とする審理において、いささかでも悪びれるところがあるとなれば、それはロータリアンに合理性の欠けているところがあるからであり、早速改められなければなりません。

限度ある人間の身では、完全なる英知ということとは望めません。しかし、生きるということは進歩することであり、進歩がやんだときは、すなわち死が訪れるのであります。

どのような教義、どのような主義といえども批判される運命をもっています。しかし、合理的な批判であれば、それに耳を傾けてそれから何物かを得ることが英知であると言えましょう。

もし万一、ロータリアンが世の指弾を受けるようなことになった場合に

は、意味のないことを大声で叫ぶより、相手を信じさせるよう筋道を立てて説明しようではありませんか。人を裁きたがるのが、人間の性でもありません。かつて、マーチン・ルーテル教会から裁かれました。しかし後年、この立場が逆転し、裁かれた者が裁いた者を裁くことになったことをご存じでしょうか。

もし、私たちがロータリーを可能な限り高い水準に置いて、そしてここにとどめておくならば、たとえ私たちが裁きの庭に引き出されたときでも、証人を得るのに苦労するようなことはないでしょう。

このように考えるとき、皆さんのそして私の双肩には重大な責任がかかっていきます。しばし沈黙して、初めに書いたあの独白『寛容』の一語に耳を澄ましてみようではありませんか。

それからまず、真剣に自ら反省し、それを表現してみようではありませんか。

ロータリーは巨大にして強力な機構です。もし野放しにされるなら、それは全人類の脅威とさえなるかもしれません。しかし、適正に導かれ



シカゴ・カウリーバンクのロビーでチェスリー・ペリーとロータリーについて談話する晩年のポール・ハリネ

たなら、それは私たちが恥じるには及ばぬ、人間味のある機構となるでしよう。

ロータリーのもつ偉大な力を知るとき、人はある種の大きな誘惑にかられます。しかし、それを克服するとき、もっとも永続する満足感が訪れるでしょう。

さて皆さん、皆さんはこの討論で展開された見解のいずれを取られるでしょうか。

付：『ザ・ナショナル・ロータリアン』の発刊

奉仕の一世紀（国際ロータリー物語） デイビッド C. フォワード

「第4章 設計者と建設者」 より一部抜粋

通信には重複する内容が多かったため、間もなくチェスはクラブとの連絡をもっと効果的に行う方法、すなわち、ロータリーについてのあらゆる重大ニュースを一回書いてそれを全クラブに送る方法が必要だと実感するようになった。1910年の大会に出席した代表委員の一人から、連合会誌の発行が提案されたが、このような中央集権的な意見の発信は地元クラブの自律性を侵害しうるといふ恐れからこの提案は却下された。「こうした出版物を支配する者が連合会を支配する」と彼らは恐れたのだ、とペリーは述懐している。こういういきさつから、大会は、事務長による「印刷物の配布」を許可するという文面にこの提案を修正していた。

初代事務総長であり『ザ・ナショナル・ロータリアン』の初代編集長のチェスリー・ペリー



こうしてポール・ハリスはその後今日まで続けられてきた伝統を始めた。全米連合会の会長としての第一期の途中で、ポールは6,000単語の「合理的ロータリー主義 (Rational Rotarianism)」という書物を執筆し、異なる業種に対するロータリーの魅力を分析した。これは純粋にポール・ハリスらしい本だった。

「もし神の導きで、いつの日か巨大なコロシアムの演壇に立ち、すべてのロータリアンの目を見ながら私が一言だけ語ることを許されるなら、一瞬のためらいもなく、私は大声を張り上げてこう叫ぶ『寛容!』と。」

これが冒頭の言葉であった。

ポールはチェスにガリ版でのエッセイを印刷して全米23クラブの2,000人のロータリアン全員に郵送するよう依頼した。ペリーは資金のないことを指摘したが、その後で彼に名

案が浮かんだ。このエッセイをパンフレット形式に作り、新聞のように未使用のスペースに有料広告を掲載することにして、スポンサーを募ってはどうか？ 直ちに実物大の見本を作り上げ、所属クラブの仲間に見せるとその中の数人が広告スペースを購入したいと申し出た。一人の小売業者はダチヨウの羽根飾りの広告を出した。

「ザ・ナショナル・ロータリアン (The National Rotarian)」創刊号は1911年1月にロータリアン全員に郵送された。ペリーの名案によって、この印刷と発送すべてがわずか米貨25.44ドルの純費用で賄うことができた。この努力を繰り返す時間も、予算も職員もいなかった彼は、これを一回限りの仕事だと考えていた。しかし、もつと雑誌を送ってほしいというリクエストを次から次へと受け取り（再版として2,000部を印刷した）、第2号のリクエストも多かった。理事会はこれがオレゴン州ポートランドで予定されていた1911年8月の大会への出席を奨励する理想的な媒体になると考え、同年7月に、ペリーは第2号を郵送した。この号にも、自身の論説、数々のクラブから寄せられた



興味深いニュース、そして20件の有料広告が掲載されていた。

1911年8月のポートランド大会で、代表委員は全国誌を定期発行する案を全会一致で承認した。この熱烈な支持にもかかわらず、「ザ・ナショナル・ロータリアン誌の経費として各ロータリアンの会費に上乘せることが許されたのは、わずか25セントだった。チェス・ペリーは月額わずか米貨65ドルの予算で枚数も部数も増え続ける雑誌の制作を任された。全米連合会の事務長としてのその他あらゆる任務に加えて、何年もこの雑誌の編集者、主任広告セールスマン、発行者を兼任したということは偉大な手柄というほかない。



右の図は「The National Rotarian」の創刊号の全12ページです。左上から右下へ。数多くの広告が見受けられます。(ロータリーの源流より)

この「電子文庫」は「ロータリーの友」2001年1、2号に掲載された記事をより多くのロータリアンにお読みいただけるように電子書籍化（PDF版・ロータリー電子文庫）したものです。

PC上で容易に閲覧できるように葉書サイズで縦書き編集・作成しています。

2007年4月 電子文庫作成
2660地区 大阪南RCY・木村

Location

The HOTEL VICTORIA occupies the entire block on 27th Street, Broadway and 5th Avenue, and is the only hotel in the city with entrances on both the latter thoroughfares. Situated right in the center of the amusement and shopping districts.

The principal stores and theatres are only five minutes' walk.

Accessibility

The Broadway surface cars pass the door. The elevated railway station (6th Avenue

and 28th Street) is one block away. Subway station (5th Avenue and 28th Street) two blocks.

Is within 15 minutes' ride from all steamship docks, ferries and railway stations, and also within a few minutes' walk from the Pennsylvania and McAdoo tunnels.

Safety

Is positively and absolutely fire-proof.

Sanitation

The plumbing is the most perfect equipment of modern times, being entirely new throughout.

Broadway
Fifth Ave. and 27th St. **HOTEL VICTORIA** NEW YORK

AMERICAN
HOTEL
VICTORIA
COMPANY

GEORGE W. SWEENEY
President

Member
Rotary Club
of New York



ANGUS GORDON
Manager

Late of
HOTEL EDWARDS/
HOTEL
Toronto, Canada

NEW YORK **HOTEL VICTORIA** Broadway
Fifth Ave. and 27th St.

Appointments

Recently re-furnished and equipped with the finest appointments. Over a thousand dollars worth of new furniture and fixtures.

Policy

Is conducted on a single or en suite basis.

Comfort

Each room has running hot and cold water, private telephone and every possible modern convenience.

Commodious

All suites have private bath, large, cheerful and airy, being

Rational Rotarianism
by Paul Harris
ROTARY CLUB OF OSAKA-SOUTH
2007/04

1.50 per day and upward, two persons, \$3.00 and upward; with bath, one person, \$2.50 per day and upward, two persons, \$4.00 and upward. Suites \$6.00 per day and upward.